

平成21年度(2009年度) 建設コストの計画と実績

平成21年度に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、土質・地質条件等の変更、競争入札による落札差金の発生、地権者、関係機関などへの提案及び協議、現場特有の状況に対応するための創意工夫及び新たな技術の採用によるものです。  
 平成21年度に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では付帯事業等の工事が平成22年度以降に残ったこと、修繕事業では工事発注の見直しで複数年度の工期に設定したことにより機構への帰属を平成22年度以降としたこと、災害復旧事業では安全性を考慮し過去の実績をもとに、45年分の額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。  
 平成21年度に会社から機構に引き渡した債務について、債務引受限度額との対比を下記に示します。

道路名(区間名)	債務引受限度額(計画)(A)	債務引受額(実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
		平成20年度まで(B)	平成21年度(C)	計(D)=(B)+(C)		
山陰自動車道鳥取益田線 斐川IC～出雲IC新設事業 13.6km	42,583	0	35,902	35,902	6,680	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も工事用道路復旧や完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
近畿自動車道天理吹田線 門真JCT新設事業	52,778	0	42,400	42,400	10,377	JCT新設は完了し供用を開始しているが、開通後も付帯工や事業損失補償等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
近畿自動車道名古屋神戸線 甲南IC新設事業	2,486	723	666	1,390	1,095	軟弱地盤対策及び標識設計の合理化等による減
中国縦貫自動車道 佐用JCT新設事業	14,796	0	14,475	14,475	320	JCT新設は完了し供用を開始しているが、開通後も工事用道路復旧や完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
中国縦貫自動車道 美弥東JCT新設事業	1,137	0	760	760	376	JCT新設は完了し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
山陽自動車道吹田山口線 高屋JCT改築事業	3,686	187	2,723	2,911	774	JCT新設は完了し供用を開始しているが、開通後も付帯工や完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
九州縦貫自動車道鹿児島線 筑豊IC新設事業	1,847	0	19	19	1,827	平成21年度はランプの施工を行っており、本線工事を引き続き実施すること等による。
東九州自動車道 末吉財部IC改築事業	1,465	0	419	419	1,045	IC改築は完了し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
一般国道1号(第二京阪道路) 枚方東IC～門真IC、 京田辺松井IC～枚方東IC6車線化、 京田辺松井IC新設事業	106,773	0	99,441	99,441	7,331	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工や事業損失補償等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
一般国道497号(佐世保道路) 佐世保中央IC～佐世保みなとIC新設事業 2.9km	720	0	432	432	287	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
一般国道1号(第二京阪道路) 田辺PA新設事業	6,335	0	6,149	6,149	185	PA新設は完了し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
近畿自動車道松原那智勝浦線 和歌山北IC新設事業	771	0	641	641	129	IC新設は完了し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
一般国道481号(関西国際空港連絡橋) りんくうJCT～関西国際空港IC新設事業 4.6km	38,552	0	38,497	38,497	54	精査による。
東九州自動車道 津久見IC～佐伯IC新設事業	59,801	50,048	2,081	52,129	7,671	地山性状確認によるトンネル掘削費等の減、トンネルジェットファンの再利用による減及び事業損失補償の箇所確定等による。
東九州自動車道 高鍋IC～西都IC新設事業	23,047	0	353	353	22,693	平成21年度はランプの施工を行っており、本線工事を引き続き実施すること等による。
中央自動車道西宮線 草津JCT～瀬田東JCT改築事業	2,882	1,771	552	2,323	558	標識の一体化施工による減及び移設物箇所等の確定等による。
近畿自動車道松原那智勝浦線 海南IC～吉備IC改築事業	66,741	0	2,453	2,453	64,287	平成21年度はランプの施工を行っており、本線工事を引き続き実施すること等による。
山陽自動車道吹田山口線 山口JCT改築事業	5,791	4,094	180	4,274	1,516	地盤改良範囲の変更による減及び事業損失補償の箇所確定等による。
四国横断自動車道阿南中村線 馬立PA～大豊IC改築事業	25,432	18,444	539	18,983	6,448	地山性状確認によるトンネル掘削費等の減、トンネル集塵機設備の再利用による減及びトンネル新型照明による設備規模等の減。
九州縦貫自動車道鹿児島線 みやま柳川IC新設事業	2,161	1,498	26	1,525	635	環境植栽及び設備配置の見直し等による減。
一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路)) 佐世保大塔IC改築事業	1,691	0	1,411	1,411	279	IC改築は完了し供用を開始しているが、開通後も付帯工や完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
中央自動車道西宮線等 平成21年度修繕事業	40,088	-	26,889	26,889	13,198	工事発注の見直しによる複数年度工期設定に伴う機構引渡し時期見直し等による。
一般国道31号(広島呉道路) 平成21年度修繕事業	112	-	17	17	94	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路) 平成21年度修繕事業	32	-	30	30	2	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
一般国道201号(八木山バイパス) 平成21年度修繕事業	586	-	60	60	526	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
中央自動車道西宮線等 災害復旧事業	30,307	4,069	766	4,835	25,471	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定していた。平成21年度は、梅雨期の豪雨、台風9号および山口、九州北部豪雨等で被災した箇所の復旧工事の一部が完成し

注1) 平成21年度(2009年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なまこは、平成21年度に完了している事業である。  
 注2) 端数処理の関係上、計が含まないことがある。  
 注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成21年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成20年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。